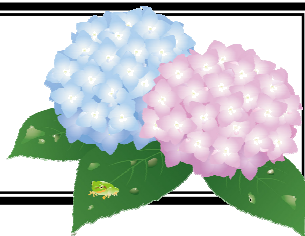


学年だより

NO.94



荒川区立
南千住第二中学校
第3学年

令和2年6月9日

各先生からのメッセージ

先週は始業式も行い、3か月ぶりに授業が始まりました。今週からは給食も再開しています。少しずついつも通りの学校生活が戻ってきました。そのような中、先週は自己紹介カードを記入したり、学年集会で学年の先生方のお話を聞いたりしました。先生方のお話を忘れないよう、要点をまとめて掲載します。読み直して、今年度の学校生活に役立ててください。また、8日(月)の道徳では、松田校長先生と美術科の村上先生が作成してくれた、コロナウイルスを題材にしたマンガを紹介しました。一丸となって感染症と戦っていきましょう。

先生方より

長田先生

今、問題になっているコロナウイルス。しかし、実はウイルスには良いウイルスもあります。例えば、二酸化炭素を蓄積するウイルスや雲を生成するウイルス。物事にはいい面もあれば悪い面もあります。また、細菌とウイルスの違いなど理科の学習に役立つことも教えていただきました。

小林先生

このような時だからこそ「思いやり」。思いやりとは思いを「送る」こと。例えば、トイレのスリッパを並べるなど。今できることを「アンテナを張って」見つけて、助け合いましょう。「情けは人の為ならず」巡り巡って自分に返ってきます。

澤田先生

この休校期間中に「中学生の力」を感じました。卒業式の準備や入学式の準備など多くの場面で皆さんの力に助けられています。笑顔でいることも大切です。笑顔を忘れずに前を向いて学校生活や日常の生活を送りましょう。

松本先生

「『嘘でも前に』行けるうちは前に行く。『嘘でも前に』行けなくなったらその時考えよう。」ポルノグラフィティの新藤さんの言葉です。これから多くの楽しみがなくなるかもかもしれません。それでも受験などはなくなりません。その中でも「嘘でも前に」日々を進みましょう。進めなくなったら先生たちを頼ってください。

南部先生

「相手をよく知る」ことで様々なこととうまく付き合うことができるようになります。このコロナウイルスもそうかもしれません。そして、人間関係も同じです。中学生の絆は一生の絆です。良い関係性を築くためにお互いをよく知り、残りの学校生活を充実したものにしてください。

中陳先生(時間の関係で午後はお話しできなかった部分もあります。)

皆さんは3学年になり、2階で生活することになります。「3年生である」という意識をもって過ごしましょう。特に、2階には校長室や職員室、応接室などがあります。学校は多くの方が来校します。それが2階を3年生が使う理由です。よく考えて、恥ずかしくないような生活を送りましょう。

転出入のお知らせ 男子1名が区外に転出しました。3年1組に男子1名が転入しました。趣味は歌うことだそうです。新しい仲間とも楽しく3年生を過ごしましょう。